

氏名 内 田 善 夫

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 923 号

学位授与の日付 昭和53年 3 月31日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学 位 論 文 題 目 癌進展性と担癌生体リンパ球の有する活性の相関

論 文 審 査 委 員 教授 寺 本 滋 教授 妹尾佐知丸 教授 小川勝士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

担癌生体のリンパ球の生物学的活性を癌の進行度との相関から調べ、担癌生体の抗腫瘍力を増強、保持し治療に役立たせよとしている。動物癌、人癌において、これらリンパ球の生物学的活性の一環としてのマクロファージ遊走阻止能（M I F）と癌の進行度との相関について検討し、下記の成績を得た。

1. Ehrlich 癌細胞 500 万個移植したマウスの M I F はまず移植 Ehrlich 腹水癌の近位リンパ節に強く出現し、移植後 10 日目で M I F は消失していく。
2. 人癌においても動物癌の場合と同様に所属リンパ節にまず M I F が生じ、癌が進行すれば減弱、消失する傾向がみられる。また胃癌患者間に高率の交叉反応があり、共通抗原が発見できれば胃癌の発見、予後の判定に M I F の判定が有力な手がかりになる。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は Ehrlich 癌細胞を移植したマウスのマクロファージ遊走阻止能と癌の進行度との相関について検討したもので癌の進展性などについて重要な所見を得たものであり、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。